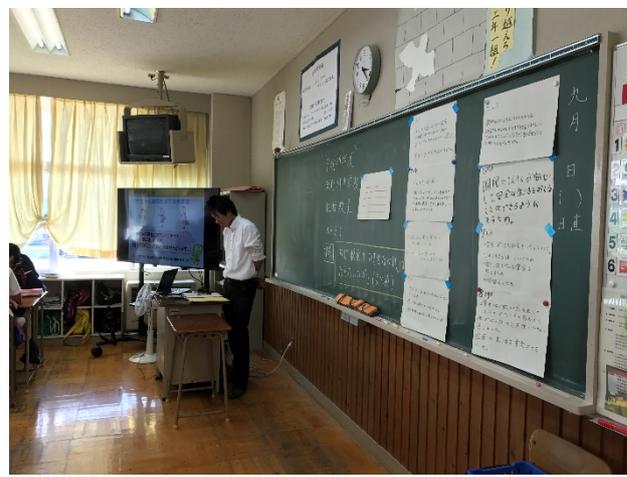


平成 29 年度

# 租税教育実践発表会資料



石巻市立飯野川中学校

教諭 今野 睦 男



### 3 指導にあたって

私たちの社会を支える税の必要性について考えさせ、理解させた上で、「納税の義務」を果たし、「持続可能な社会」の形成に貢献できる社会の一員としての資質を向上させていきたいと考える。そこで以下の手立てで、指導にあたっていく。

(1) 税についての関心を高める。

#### 様々な資料や動画の活用

- ①国税庁>税の学習コーナー>ビデオライブラリー>ご案内します アナザーワールドへ  
②中学校社会科用学習資料『私たちの暮らしと税』平成29年度版

(2) 税についての理解を深める。

#### 教師の授業（私たちの生活と財政）

- ①財政の仕組み（歳入・歳出） ②様々な税金（税の種類） ③税の公平性（累進課税）

(3) 納税者としての意欲を高める。

#### 関係機関との連携

- ①中学生の「税についての作文」 ②ゲストティーチャー（以下G T）による出前授業

### 4 指導計画 【単元名 「税について考える」 5時間扱い】

時間	目標	具体的な学習活動	指導上の留意点
1	・財政や税の仕組みを知り、税金に対する関心を高める。	・動画から財政や税の仕組みを知り、関心を高める。 ・動画の内容について、資料などを活用し、補足説明し、関心を高める。	・動画については、国税庁>税の学習コーナー>ビデオライブラリー>ご案内します アナザーワールドへを活用する。 ・資料については、中学校社会科用学習資料『私たちの暮らしと税』平成29年度版を活用する。
2	・財政の仕組み（歳入・歳出）、税の種類についての理解を深める。	・教科書や資料を通して、財政の仕組み（歳入・歳出）、税の種類についての理解を深める。	・資料については、中学校社会科用学習資料『私たちの暮らしと税』平成29年度版を活用する。
3	・累進課税による税の公平性や逆進性についての理解を深める。	・所得税や相続税には、累進課税の方法が採られ、消費税などの間接税には、税負担の逆進性があることについて理解を深める。	・「公正」の観点からより良い税の課し方について考える。
4	・税についての個人のまとめ等を行い、納税者としての意欲を高める。	・持続可能な社会の実現のため、税についてどんな工夫をしたらよいか考える。 ・「税についての作文」を書く。	・「税についての作文」については、夏季休業中の課題とする。
5 (本時)	・税について考えたことをグループで共有し、納税者としての意欲を高める。	・G Tを招き、「なぜ税金はおさめなければならないのか」を考える。	・G Tから講話をいただき、生徒の発表にコメントをもらう。

5 実践内容 (※5時間目：G Tを招いての実践授業から 平成29年9月8日6校時実施)

段階	教師の働きかけ	形態	学習活動	具体的な指導や留意点 ※資料
導入 3分	1 前時の学習を振り返らせる。	一斉	1 自分の記入した内容や友人が記入した内容を見て学習内容を振り返る。	・前時の学習課題 「持続可能な社会の実現のため、税についてどんな工夫をしたらよいか」
展開 42分	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <b>学習課題</b> 「なぜ税金はおさめなければならないのか」(まとめ)                 </div>			
	2 G Tによる講話を聞かせる。	一斉	2 G Tによる講話を聞く。	・G Tと事前に打ち合わせを行い、講話内容及び流れを確認する。
	3 G Tの講話を受け、学習課題について、考えさせる。	個人	3 G Tの講話を受け、学習課題について、考える。	・前時の資料等も参考にさせる。
	4 <b>学習課題</b> について考えたことを発表し、意見をまとめさせる。	小集団	4 <b>学習課題</b> について考えたことを発表し、意見をまとめる。	・小集団の話し合いの様子を見守り、質問等があれば、対応する。
	5 学習課題について考えたことをグループごと、全体で発表させる。	一斉	5 学習課題について考えたことをグループごと、全体で発表する。	・発表者側 全体に聞こえるように発表する。 ・聞く側 発表する人を向く。



・最後にGTより、講評をいただく。



**学習課題** 「なぜ税金はおさめなければならないのか」(まとめ) グループで協議の結果  
(※原文のまま)

- 1班** ・税金は人間としてある程度不自由にならないために納めなければいけないもの  
と思った。  
・国民の生活を便利にするため。
- 2班** ・国や人のため。  
・税があることで少しずつ払わなければならないことがひとりひとりのおかげで道路  
の整備や学校の教育費などのお金をまかなっている。
- 3班** ・国の経済や衛生環境をより良く保つため。  
・安心安全に過ごせる環境を造るため。
- 4班** ・国民が不自由なく安全に生活を送るため。  
・税がないと国が成り立たないから。  
・国の財政を維持し、衰えさせないため。
- 5班** ・最終的には自分たちのためになる。税金を納めなければ、今まで税金でまかなっ  
ていたものもまかなえなくなるから、結局自分たちに周ってくるのだと思うか  
ら。
- 6班** ・国民の一人一人が安心して安全な生活を送ることができるようにするため。
- 7班** ・安全、安心な社会をつくっていくため。  
・これからも生活していくため。  
・自分の住んでいる環境を整えるため。  
・日本国民のため。
- 8班** ・日常生活で税から成り立っているものがたくさんあるから、税がなくなったら、  
不便になると思いました。  
・国民の生活を安定させるため。

終末  
5  
分

6 本日の学習の振り返りを  
行わせる。

個人  
↓  
全体

6 本日の学習の振り返りを  
行う。

・本日の学習について、学んだこと  
を何名かの生徒に発表させる。

## 6 生徒の感想等から

授業の終末に、あなたにとって「税」(税以外で)とは何か、漢字1文字とその理由について考えさせた。以下はその漢字とその理由である。(※原文のまま)

生徒名(男女別)	漢字	理由
A・S(男)	平	国民が誰でも平等に背負わなければいけない大切な義務であると考えたから。
I・T(男)	国	国民のためにあるから。
O・T(男)	安	安全・安心のため。
K・K(男)	将	(無回答)
K・K(男)	生	生きていくためにはなければいけないものだから。
K・K(男)	税	税金といえば、税だと思うから。
K・T(男)	必	税は必要不可欠なものですが、税が原因で色々な問題も起きている。
G・G(男)	神	人々が協力し国を支え合っている。これほどまで素晴らしいことはない。
S・M(男)	国	税金は国のためにいろんな役に立つ。
T・S(男)	必	国や人々にとってなくてはならないものだと思ったから。
C・K(男)	生	税金がなくては生きていけないから。
M・S(男)	生	税金がなければ、生活ができないし、生きていけないから。
M・T(男)	生	税は日常生活や生きる上でとても大切なことだと思った。
Y・H(男)	支	税金があることにより、学校や病院に行けるんだと思いました。
W・D(男)	豊	豊かな生活をするために必要だから。
A・N(女)	安	税金があることによってたくさんの人が安全に暮らすことができると思ったから。
A・M(女)	為	人の為、国の為、すべてにおいて、税金は様々な事に活かされていると思ったから。
I・M(女)	生	生きていく為には大切なものだから。
E・A(女)	支	(無回答)
E・M(女)	助	(無回答)
O・H(女)	安	国民の生活が安定し、安心して暮らすために、なくてはならないものだと思ったから。
K・Y(女)	支	私たちの生活、国を支えてくれていて、これからも支えてくれるのに必要だから。
K・K(女)	国	私たちが国のために税金を納めていって、この国が成り立つと思いました。
S・C(女)	国	国のためにもあって、国のためにもあるから、国全体に必要なと思った。
S・A(女)	国	国民一人一人が納めることによって安全・安心して暮らせるから。
S・A(女)	人	人がいなければ、払えないし、支え合ってもいけないから。
T・A(女)	支	国民が税金を払うかわりに国が日本全体を支えてくれていると思うから。
T・S(女)	心	やっぱり税は必要だと思いました。
C・R(女)	助	国や人を助けるために役立っているから。
N・W(女)	心	(無回答)
W・A(女)	人	税金は、国民の安全、環境などを考えてつくられたから。

## 7 成果と課題 (○成果 ●課題)

○事前にプログラムされた指導計画を立案することで、円滑に指導を行うことができた。

○様々な手立てを活用し、生徒の関心や意欲を高めることができた。

●中学校社会(公民科)との指導計画にどのように折り合いをつけていくが必要である。

●G Tと事前の打ち合わせで、指導計画をもっと綿密に練ることが必要である。